

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年11月11日

【四半期会計期間】 第79期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 高压ガス工業株式会社

【英訳名】 KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 竹内 弘 幸

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第78期 第2四半期 連結累計期間		第79期 第2四半期 連結累計期間		第78期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		31,991,599		35,272,317		67,484,573
経常利益	(千円)		2,286,911		2,467,403		5,116,002
四半期(当期)純利益	(千円)		1,381,442		1,363,942		2,733,482
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		938,681		1,123,950		2,567,117
純資産額	(千円)		34,473,743		37,061,306		36,338,990
総資産額	(千円)		58,206,196		63,882,794		65,916,555
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		25.04		24.74		49.57
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		58.3		56.1		53.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,966,533		1,288,298		4,809,588
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		37,808		529,099		169,705
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,102,441		1,491,136		1,490,258
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		11,166,939		12,905,983		13,636,375

回次		第78期 第2四半期 連結会計期間		第79期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		12.89		10.50

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載していません。
4. 第78期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による停滞から持直し傾向にあるものの、欧州金融市場の動揺が世界経済に変調をもたらし、円高の長期化、株安の進行などにより、景気の先行きに対する不透明感を強めながら推移しました。

このような状況のもと、グループ全体の連携や販売体制の強化をはかるとともに、効率化とコスト削減に努めながら積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は352億72百万円（前年同期比10.2%増加）、営業利益は23億35百万円（前年同期比18.6%増加）、経常利益は24億67百万円（前年同期比7.8%増加）、四半期純利益は13億63百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、東日本大震災の影響を受け、鉄鋼、自動車、電機、化学、半導体など仕向け先全般にわたり先行きが不透明な状況のもと、一時的な需要の回復に支えられながら推移しました。

このような事業環境のなか、容器にガスを充填して供給するシリンダーガスビジネスの収益力強化のため、地域に密着した営業を展開し、物流面における効率化と安定供給体制の強化をはかりながら、積極的な営業活動を行なってまいりました。

主力製品の『溶解アセチレン』は、建設、橋梁が公共工事等の減少による影響もありましたが、売上高は前年同期並みとなりました。『その他工業ガス等』では、酸素、窒素、アルゴンが鉄鋼、化学、非鉄金属、電機、半導体向けなどの需要が減少しましたが、LPガス等の石油系ガスの需要の増加と輸入価格の上昇に伴い、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の凍結や先送りなどの影響を受けましたが、設備関連機器等のスポット需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、各種シリンダーガスの需要の低迷により中容器は減少したものの、特殊容器が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は267億83百万円（前年同期比6.9%増加）、営業収入は1億36百万円（前年同期比1.7%減少）、営業利益は22億28百万円（前年同期比6.4%増加）となりました。

化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、住宅着工件数に回復の兆しがみられるものの、東日本大震災の影響や円高が長期化するなか、依然として厳しい状況が続きました。

『接着剤』は、ペガールが新製品の開発により、塗料用の需要が、建築、コーティング向けに伸長し、また、粘着用テープ向けの需要も増加しました。シアノンは、海外向けの需要が円高の影響を受け減少しましたが、国内向けの需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、遮熱塗料クールトップ、防水保護塗料H P トップなどの建築向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は80億62百万円（前年同期比23.4%増加）、営業収入は6百万円（前年同期比70.7%減少）、営業利益は5億93百万円（前年同期比73.6%増加）となりました。

その他事業

その他事業は、L S Iカードは前年同期を下回ったものの、新興国向けの容器等の需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億25百万円（前年同期比2.6%増加）、営業利益は53百万円（前年同期比6.9%減少）となりました。

（売上高及び営業収入内訳）

（単位：百万円）

事業	区 分	第 78 期 第 2 四半期連結 累計期間	第 79 期 第 2 四半期連結 累計期間	増減額	増減率
ガス事業	溶解アセチレン (水酸化カルシウムを含む)	2,676	2,676	0	0.0%
	その他工業ガス等	13,188	13,595	406	3.0%
	溶接溶断関連機器	7,215	7,846	630	8.7%
	容器	1,445	1,882	437	30.2%
	その他	519	783	263	50.6%
	営業収入	138	136	2	1.7%
	合計	25,183	26,920	1,736	6.8%
化成品事業	接着剤	1,965	2,060	94	4.8%
	塗料	3,068	3,977	908	29.6%
	その他	1,497	2,025	527	35.2%
	営業収入	22	6	16	70.7%
	合計	6,554	8,069	1,514	23.1%
その他事業	L S Iカード	283	264	18	6.5%
	その他	131	160	29	22.2%
	合計	414	425	10	2.6%
合 計		32,153	35,415	3,262	10.1%

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、129億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億30百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、12億88百万円(前年同期比34.4%減少)となりました。

これは主に、法人税等の支払い額が14億49百万円及び仕入債務の減少額が5億24百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が24億49百万円、減価償却費が7億45百万円及び売上債権の減少額が8億88百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、5億29百万円(前年同期は37百万円の獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が4億49百万円及び投資有価証券の取得による支出が1億7百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、14億91百万円(前年同期比35.2%増加)となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出が10億60百万円及び配当金の支払いが3億84百万円あったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は1億32百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、化成品事業の生産及び販売実績が著しく増加しています。これは、前連結会計年度末にスズカファイン(株)を新たに連結子会社に含めたことによるものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,577,526	55,577,526	大阪証券取引所 (市場第一部) 東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	55,577,526	55,577,526		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		55,577,526		2,885,009		2,738,251

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
電気化学工業(株)	東京都中央区日本橋室町2丁目1-1	6,906	12.42
こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町1-5	5,619	10.11
共栄火災海上保険(株)	東京都港区新橋1丁目18-6	4,003	7.20
大陽日酸(株)	東京都品川区小山1丁目3-26	3,023	5.43
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	東京都中央区晴海1丁目8-12	2,717	4.88
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	2,621	4.71
高圧ガス社員持株会	大阪市北区堂山町1-5	1,724	3.10
日本トラスティ・サービス信託 銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,583	2.84
三菱UFJ信託銀行(株)	東京都港区浜松町2丁目11-3	1,500	2.69
北陸工業瓦斯(株)	福井県越前市平出3丁目4-1	886	1.59
計		30,583	55.02

(注) こうあつ共栄会は、当社の取引先会社で構成される持株会であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 424,000		
	(相互保有株式) 普通株式 91,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,536,000	54,536	
単元未満株式	普通株式 526,526		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,577,526		
総株主の議決権		54,536	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれています。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式及び相互保有株式が次のとおり含まれています。

自己株式 288株
 相互保有株式 スズカファイン(株) 231株
 スズカケミー(株) 560株
 名岐溶材(株) 966株(こうあつ共栄会名義)

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 高圧ガス工業株式会社	大阪市北区堂山町1-5	424,000		424,000	0.76
(相互保有株式) スズカファイン株式会社	三重県四日市市塩浜町1	41,000		41,000	0.07
スズカケミー株式会社	佐倉市石川熊野堂620-1	43,000		43,000	0.07
名岐溶材株式会社	岐阜市手力町1-4	1,000	6,000	7,000	0.01
計		509,000	6,000	515,000	0.92

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,672,375	12,941,984
受取手形及び売掛金	21,544,120	20,668,870
商品及び製品	2,225,840	2,337,338
仕掛品	358,985	438,985
原材料及び貯蔵品	1,024,813	1,069,532
繰延税金資産	764,687	772,108
その他	185,500	393,626
貸倒引当金	204,732	219,768
流動資産合計	39,571,591	38,402,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,695,171	4,546,373
機械装置及び運搬具(純額)	2,074,462	1,893,086
土地	11,383,471	11,383,471
建設仮勘定	17,497	120,019
その他(純額)	733,332	670,977
有形固定資産合計	18,903,935	18,613,928
無形固定資産		
のれん	175,427	155,389
その他	251,744	215,818
無形固定資産合計	427,172	371,207
投資その他の資産		
投資有価証券	5,405,610	4,904,501
繰延税金資産	581,249	653,781
その他	1,140,993	1,015,480
貸倒引当金	113,996	78,783
投資その他の資産合計	7,013,856	6,494,980
固定資産合計	26,344,963	25,480,116
資産合計	65,916,555	63,882,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,888,335	14,364,203
短期借入金	4,521,577	3,516,137
1年内返済予定の長期借入金	2,051,182	47,558
未払法人税等	1,447,278	850,384
賞与引当金	1,059,642	1,002,315
その他	1,587,130	1,429,645
流動負債合計	25,555,147	21,210,244
固定負債		
長期借入金	1,783,665	3,691,745
繰延税金負債	426,246	392,487
退職給付引当金	615,669	470,685
役員退職慰労引当金	621,562	140,025
負ののれん	4,354	2,957
その他	570,919	913,341
固定負債合計	4,022,417	5,611,242
負債合計	29,577,564	26,821,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885,009	2,885,009
資本剰余金	2,745,154	2,745,154
利益剰余金	29,046,794	30,024,623
自己株式	227,918	227,054
株主資本合計	34,449,039	35,427,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	780,220	438,656
その他の包括利益累計額合計	780,220	438,656
少数株主持分	1,109,729	1,194,916
純資産合計	36,338,990	37,061,306
負債純資産合計	65,916,555	63,882,794

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	31,991,599	35,272,317
売上原価	23,679,180	25,390,387
売上総利益	8,312,419	9,881,929
営業収入	161,677	143,079
営業総利益	8,474,097	10,025,009
販売費及び一般管理費	6,504,795	7,689,100
営業利益	1,969,302	2,335,908
営業外収益		
受取利息	3,913	3,325
受取配当金	81,862	78,861
受取手数料	55,890	34,083
負ののれん償却額	9,978	1,397
持分法による投資利益	48,295	-
その他	202,012	228,345
営業外収益合計	401,951	346,012
営業外費用		
支払利息	45,440	41,882
環境対策費	-	122,368
その他	38,901	50,266
営業外費用合計	84,342	214,518
経常利益	2,286,911	2,467,403
特別利益		
投資有価証券売却益	183,282	-
特別利益合計	183,282	-
特別損失		
投資有価証券評価損	5,090	15,433
ゴルフ会員権評価損	13,921	2,950
役員退職慰労金	9,737	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	92,801	-
特別損失合計	121,550	18,383
税金等調整前四半期純利益	2,348,643	2,449,020
法人税、住民税及び事業税	993,567	856,075
法人税等調整額	35,270	119,666
法人税等合計	958,296	975,741
少数株主損益調整前四半期純利益	1,390,347	1,473,278
少数株主利益	8,904	109,335
四半期純利益	1,381,442	1,363,942

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,390,347	1,473,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448,402	349,328
持分法適用会社に対する持分相当額	3,263	-
その他の包括利益合計	451,666	349,328
四半期包括利益	938,681	1,123,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	937,587	1,030,284
少数株主に係る四半期包括利益	1,093	93,666

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,348,643	2,449,020
減価償却費	741,823	745,440
貸倒引当金の増減額(は減少)	22,154	20,177
賞与引当金の増減額(は減少)	33,720	57,326
退職給付引当金の増減額(は減少)	38,947	144,983
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	36,177	481,537
役員賞与引当金の増減額(は減少)	94,100	144,800
受取利息及び受取配当金	85,775	82,186
支払利息	45,440	41,882
持分法による投資損益(は益)	48,295	-
投資有価証券売却損益(は益)	183,282	-
投資有価証券評価損益(は益)	5,090	15,433
ゴルフ会員権評価損	13,921	2,950
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	92,801	-
売上債権の増減額(は増加)	1,134,638	888,472
たな卸資産の増減額(は増加)	69,110	236,216
仕入債務の増減額(は減少)	937,689	524,132
未払消費税等の増減額(は減少)	27,977	28,957
その他	109,272	216,487
小計	2,612,798	2,697,283
利息及び配当金の受取額	85,775	82,186
利息の支払額	45,440	41,882
法人税等の支払額	686,599	1,449,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,966,533	1,288,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	42,000	42,000
定期預金の払戻による収入	42,000	42,000
有形固定資産の取得による支出	258,358	449,465
投資有価証券の取得による支出	43,352	107,875
投資有価証券の売却による収入	297,489	-
その他の支出	10,718	26,150
その他の収入	52,749	54,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,808	529,099
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	766,194	1,060,030
長期借入れによる収入	-	2,000,000
長期借入金の返済による支出	-	2,040,954
配当金の支払額	331,023	384,807
その他の支出	5,222	5,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,102,441	1,491,136
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,201	1,546
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	903,103	730,391
現金及び現金同等物の期首残高	10,263,835	13,636,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,166,939	12,905,983

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<p>(1) 連結の範囲の重要な変更</p> <p>前連結会計年度において連結子会社であった共栄ガス(株)、木本酸素(株)、(株)前田商会及び(株)ナノテクフオン(株)は平成23年4月1日に合併し、ウエルディングガス九州(株)となりました。また、前連結会計年度において連結子会社であった(株)ガスコンは平成23年4月1日に宇野酸素(株)に吸収合併されました。</p> <p>これに伴い、連結子会社の数は4社減少し、33社から29社になっています。</p>

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<p>(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)</p> <p>第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。</p>
<p>(役員退職慰労引当金)</p> <p>当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員に対する退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく要支給額を計上していましたが、平成23年4月20日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止するとともに、平成23年6月29日開催の定時株主総会において在任期間に対応する退職慰労金の打切り支給を行なうことを決議しています。</p> <p>なお、支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とし、当該総会までの期間に相当する役員退職慰労金相当額294,752千円を固定負債の「その他」に計上しています。</p>

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<p>1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>運賃 1,053,358 千円</p> <p>給料手当 1,858,678 "</p> <p>貸倒引当金繰入額 31,001 "</p> <p>賞与引当金繰入額 511,185 "</p> <p>消耗品費 446,584 "</p> <p>賃借料 390,391 "</p> <p>減価償却費 428,256 "</p> <p>退職給付費用 63,981 "</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 38,982 "</p>	<p>1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>運賃 1,352,732 千円</p> <p>給料手当 2,243,520 "</p> <p>賞与引当金繰入額 598,790 "</p> <p>消耗品費 518,590 "</p> <p>賃借料 425,517 "</p> <p>減価償却費 446,790 "</p> <p>退職給付費用 70,628 "</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 39,215 "</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 11,202,939千円	現金及び預金 12,941,984千円
預入期間が3か月超の定期預金 36,000千円	預入期間が3か月超の定期預金 36,000千円
現金及び現金同等物 11,166,939千円	現金及び現金同等物 12,905,983千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	331,031	6	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月12日 取締役会	普通株式	330,999	6	平成22年9月30日	平成22年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	386,113	7	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	330,919	6	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,044,815	6,532,115	414,669	31,991,599		31,991,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	138,821	22,856		161,677		161,677
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	25,183,636	6,554,971	414,669	32,153,277		32,153,277
セグメント利益	2,092,893	342,035	57,755	2,492,684	523,381	1,969,302

(注) 1 セグメント利益の調整額 523,381千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,783,865	8,062,948	425,504	35,272,317		35,272,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	136,385	6,694		143,079		143,079
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	26,920,250	8,069,642	425,504	35,415,397		35,415,397
セグメント利益	2,228,740	593,939	53,720	2,876,400	540,491	2,335,908

(注) 1 セグメント利益の調整額 540,491千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	25円04銭	24円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,381,442	1,363,942
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,381,442	1,363,942
普通株式の期中平均株式数(株)	55,154,110	55,121,562

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(中間配当)

平成23年11月11日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり中間配当を行なう旨決議いたしました。

- 1 中間配当金の総額 330,919千円
- 2 1株当たり中間配当金 6円
- 3 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月8日

高圧ガス工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村幸彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一 二 三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高圧ガス工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高圧ガス工業株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。